

わくわく!

まち元気 リンクワーカー 公開講座

2026年 10月.12月
2027年 2月

全3回

地域のウェルビーイングのために、
文化芸術でつながりをつくる

まち元気リンクワーカー公開講座とは？

可児市文化創造センター(ala)では、文化芸術を通し、すべての人が「違い」を価値として受容し、自分らしく幸福に共生できる社会の実現というビジョンを掲げ、まち元気プラットフォーム(持続可能な地域の支え合いのネットワーク)の構築に取り組んでいます。

まち元気リンクワーカーとは、文化芸術の場づくりなどを通して地域の人々の多様なつながりをつくり、地域を元気にする「つなぎ手」のことです。

生きづらさや社会的孤立を感じる人に対しても、文化芸術を介してつながりをつくり、互いにエンパワメントできる環境をつくるため、2025年度まで3期にわたり実施してきた「養成講座」を、「公開講座」へと広げます。

市民誰もがリンクワーカー(つなぎ手)の視点を持つ「まち元気プラットフォーム」の形成を目指します。

まち元気リンクワーカーについて
こちらを参考にしてください



まち元気リンクワーカー公開講座開催概要

応募条件	文化芸術や地域づくりに関心があり、多様な世代・背景を持つ人たちと協働することに意欲のある方 ※全3回を通じた受講をおすすめしますが、関心のある回だけの「単発参加」も可
日程	2026年10月～2027年2月(全3回) ※詳細は裏面をご覧ください。※お申し込み時に、参加希望の回をお選びいただけます。
会場	可児市文化創造センター ala 音楽口フト ほか
費用	受講料「無料」
応募方法	申込みフォームへの入力(応募動機、参加希望回などを選択・ご記入いただきます)
募集対象・人数	18才以上・30名程度

お問い合わせ先
可児市文化創造センター ala
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
可児市文化創造センター ala 創造事業課(半田・松浦)
☎ 0574-60-3311

申込み
フォームは
こちら

※お預かりした個人情報は
本講座以外には使用しません



目指すのは「完璧さ」ではなく「やってみて、振り返る」こと。
誰でも安心して自分の思いを話せる、失敗を歓迎する空気感を大切にします。
座学とワークショップを組み合わせた4時間の講座を通して、
地域づくりを等身大で楽しむための視点を学びます。

1 『居場所』と『出番』のつくり方

2026年 10月3日(土) 13:00-17:00

高齢者施設や地域サロンにおいて、誰もが「役割」を持てるインクルーシブな演劇的ワークショップを体験します。目の前にある「マイクロハピネス(小さな幸せ)」を拾い上げ、フラットに混ざり合う居心地の良さを体感します。



講師

川口 淳一

- 結城病院リハビリテーション科 科長
- 作業療法士
- 演劇的手法を用いた場づくり実践者

2 支持者開発とプラットフォーム形成

— 思いを形にする『仲間と資源』の集め方

2026年 12月13日(日) 13:00-17:00

民間・市民・行政の3つの視点で、地域活動での「孤軍奮闘」を防ぐためのネットワーク構築術を学びます。資金調達や共感者の獲得の視点を取り入れ、地域の資源を可視化し、自分一人ではなく「チーム」でプロジェクトを持続可能にするための思考を獲得します。



講師

古川 拓也

- 一般社団法人 Tsunagas
- 行政アドバイザー
- Tsunagista 地域共創プロデューサー

3 インクルーシブ教育とまちの未来

— ナナメの関係が育む『まち元気』

2027年 2月13日(土) 13:00-17:00

障害の有無や世代を越えたインクルーシブな場づくりを学びます。「alaまち元気部」の中高生たちや地域の障がい者団体と協働し、あらゆる人がフラットに交わる空間を創出。1年間の気づき(ふりかえり)を共有し、次年度のアクションへと繋げます。



講師

小松原 修

- ドラマディレクター
- 佐賀県立特別支援学校
- 元 佐賀大学大学院学校 教育学研究科准教授
- インクルーシブ教育・場づくり実践者